



銀黒色の石州瓦を使用したO様邸。棟の直線と波打つような瓦の曲線が美しい。この家で約3000枚の石州瓦が使用されている。



瓦屋根でも太陽光パネルの設置が可能。O様邸は太陽光発電などのエネルギー創出量と使用するエネルギーの消費量が年間で概ねゼロになる「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」に認定された。



瓦同士が互いにしっかりと組み合って、屋根に固定されているので風速40mの台風にも耐えられる設計。国内最高品質と呼ばれる所以だ。



O様邸の玄関に置かれていた石見焼の水がめは、江戸後期から明治初期に作られたものと推測される。昔この家で使っていたものだそうで、今となっては貴重な逸品。

古くからこの地方の生活の中で愛用されてきた石見焼。漬物壺や水がめなどに使われている石見焼は、石見地方に分布する都野津層の良質な粘土を使い、1200度以上の高温で焼くため耐久性に優れ、昔からこの地方の生活の中で長く使われてきた。石州瓦はこの石見焼の原材料や特性、焼成技術を生かしたものひとつだ。

石州瓦はこの石見焼の原材料や特性、焼成技術を生かしたのである。暑さや寒さ、積雪や塩害、酸性雨など厳しい日本海側の気候に晒されても、100年以上耐えうる力を持つ石州瓦。瓦は成型後、高温で焼くため赤褐色や鉄砂色（黒、銀など釉薬の色が落ち着いた色となり、住まいの木材との相性がよく馴染む。石州瓦の家並みが自然豊かな山陰・山陽の風土にしつくり溶け込み、中国地方独自の美しい風景を作り出しているのだ。

### 石見の豊かさが生み出した強く美しい石州瓦

石州とは、現在の石見地方の別称で大田市、江津市、浜田市、益田市といつた島根県西部一帯を指す。この辺

りは古くから石見銀山の鉱物をはじめ、和紙、焼物に使う粘土など、天然資源に恵まれた地域として知られている。石州瓦もこうした石見の豊かな自然と風土から生まれたもののひとつだ。

石州とは、現在の石見地方の別称で大田市、江津市、浜田市、益田市といつた島根県西部一帯を指す。この辺りは古くから石見銀山の鉱物をはじめ、和紙、焼物に使う粘土など、天然資源に恵まれた地域として知られている。石州瓦もこうした石見の豊かな自然と風土から生まれたもののひとつだ。

古くからこの地方の生活の中で愛用されてきた石見焼。漬物壺や水がめなどに使われている石見焼は、石見地方に分布する都野津層の良質な粘土を使い、1200度以上の高温で焼くため耐久性に優れ、昔からこの地方の生活の中で長く使われてきた。石州瓦はこの石見焼の原材料や特性、焼成技術を生かしたのである。暑さや寒さ、積雪や塩害、酸性雨など厳しい日本海側の気候に晒されても、100年以上耐えうる力を持つ石州瓦。瓦は成型後、高温で焼くため赤褐色や鉄砂色（黒、銀など釉薬の色が落ち着いた色となり、住まいの木材との相性がよく馴染む。石州瓦の家並みが自然豊かな山陰・山陽の風土にしつくり溶け込み、中国地方独自の美しい風景を作り出しているのだ。



## 石州瓦が作る日本の美しい風景



豊かな自然に恵まれた石見地方からうまれた石州瓦。

独自の美しさを保ちながら、曲線と直線、陰影、光沢、色合い。

優れた機能性、耐久性、経済性を持つ。

美しい日本の家、日本の風景を作る。

石州瓦の魅力を紐解いてみよう。